

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2003-142967(P2003-142967A)

【公開日】平成15年5月16日(2003.5.16)

【出願番号】特願2001-341765(P2001-341765)

【国際特許分類第7版】

H 03 G 3/20

H 03 G 3/30

H 04 B 1/16

【F I】

H 03 G 3/20 C

H 03 G 3/30 B

H 04 B 1/16 R

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月27日(2004.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の周波数分割されたチャネルを持つ信号を受信する受信装置において、利得可変ループを含み、変動する受信信号レベルがあるレベルに保つための利得可変回路と、前記利得可変回路の出力に基づいて、複数の隣接チャネルから目的の周波数の信号だけを取出すための複数段の帯域通過フィルタとを含み、前記複数段の帯域通過フィルタの一部を前記利得可変回路の利得可変ループ内に取り込んだことを特徴とする、受信装置。

前記複数段の帯域通過フィルタの一部を前記利得可変回路の利得可変ループ内に取り込んだことを特徴とする、受信装置。

【請求項2】

さらに、前記利得可変回路の後段に接続され、前記受信信号のレベルを制限するためのリミッタ回路と、前記リミッタ回路の信号レベル検出信号とに基づいて受信信号レベルを検出する受信レベル検出回路とを備えたことを特徴とする、請求項1に記載の受信装置。

【請求項3】

前記複数段の帯域通過フィルタのうち、前記利得可変ループ内に取込む段数と前記利得可変回路の出力側に接続される段数を可変にしたことを特徴とする、請求項1に記載の受信装置。

【請求項4】

さらに、制御信号に応じて前記利得可変ループ内の帯域通過フィルタをバイパスするためのバイパス回路を含むことを特徴とする、請求項1ないし3のいずれかに記載の受信装置。

【請求項5】

さらに、受信信号を第1の中間周波数信号に変換する第1の周波数変換回路と、

前記第1の中間周波数信号を第2の中間周波信号に変換して前記利得可変回路に出力する第2の周波数変換回路とを含むことを特徴とする、請求項1ないし3のいずれかに記載

の受信装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

この発明は、複数の周波数分割されたチャネルを持つ信号を受信する受信装置において、利得可変ループを含み、変動する受信信号レベルがあるレベルに保つための利得可変回路と、利得可変回路の出力に基づいて、複数の隣接チャネルから目的の周波数の信号だけを取出すための帯域通過フィルタとを含み、帯域通過フィルタの一部を利得可変回路の利得可変ループ内に取り込んだことを特徴とする。